

## 平成31年度 第4回市長タウンミーティング概要

と き：平成31年4月20日（土）  
午前10時30分～正午  
ところ：北町公民館  
参加者：134人

### ○市長あいさつ

（市長より、平成31年度の施策・予算についての説明が行われました。）

### ○意見交換

#### 質問(女性)

先日、大阪市の小中学校で災害時の安全確認などを理由に校内へのスマートフォンの持ち込みが可能になったという報道がありましたが、蕨市では、これまでと同様に持ち込み不可の対応をお願いしたいと思っています。持ち込みが可能になると、授業中の使用や、スマートフォンによるいじめなどが危惧されます。また、小中学生の子どもを持つ保護者に対して、スマートフォンの持ち込みに関するアンケートを実施していただきたいです。

#### 回答(市長)

スマートフォンは、大変便利な機器である反面、SNSを通じたトラブルの増加や生活習慣の乱れ、ネット依存など、子どもたちにとっては弊害が非常に大きいことが明らかになってきています。そこで、蕨市では、全国に先駆けてアウトメディア宣言を行い、子どもたちがパソコンやゲーム、携帯電話などの電子メディアに接触する時間をなるべく減らしていけるよう、地域ぐるみでの取り組みを行っています。従って、学校へのスマートフォンの持ち込みについても慎重に考えるべきと思っていますし、教育委員会においても、現時点で、大阪市の判断を受けてスマートフォンの持ち込みを許可する方向には進めていません。今後も、本当の意味で子どもの安全や成長にとって何が大事であるかという観点で、慎重に考えていきたいと思っております。

### 質問(女性)

夫や知人は、戸田市の図書館の自習室をよく利用しています。自習室を設けることで図書館の利用者は確実に増えると思いますので、蕨の図書館にも設置していただけないでしょうか。

### 回答(市長)

図書館で一般的な自習をされる場合は、2階の読書室をご利用いただいているところですが、使いづらい点もあるかと思えます。現在進めている西口駅前再開発においては、新しい図書館の設置を検討していますが、どのような図書館にするのかについて市民の皆さんのご意見をお伺いするため、今月中に1000人を対象としたアンケートを実施するとともに、皆さんと意見を出し合いながら新図書館を考えるワークショップも予定しており、こちらは広報蕨5月号で参加者を募集します。そうしたアンケートやワークショップでいただいたご意見やご提言を生かしながら、図書館を整備していこうと考えています。

図書館に自習室をとというご意見はこれまでも伺っておりますので、新しい図書館における重要なテーマになってくると考えています。また、現在の環境ですと、パソコンの持ち込みも難しい状況ですので、WiFi設備なども含め今後検討していき、より良い図書館を目指していきたいと思えます。

### 質問(男性)

3点質問があります。1点目は、西口駅前の開放型の喫煙所を密閉型、もしくは廃止にするなど、受動喫煙防止の取り組みを強化していただきたいです。2点目は、ぷらっとわらびについてです。1日の利用者が人口の0.25%で毎年4千万円の赤字を出していると思うのですが、バスの本数の低減などを行い赤字を抑制していただきたいです。3点目は、若年層の呼び込みに向けた政策についてです。蕨市では高齢者が多いからか、高齢者向けの政策が多いと思えます。長期的に考えた場合、若年層を呼び込み税収を増やさないと財政的に厳しくなると思えますので、若い方を呼び込む政策をもっと打ち出していただきたいです。

### 回答(市長)

1点目の西口駅前の喫煙所についてですが、以前は駅前ロータリー内にあったものを、受動喫煙防止の観点から現在の場所へ移設し、植栽やガードパイプで囲う対策を行ってきました。受動喫煙防止は、市民の皆さんの健康を守る上で重要な課題であり、最近では社会の理解が広がってきていますので、現在の西口駅前の喫煙所についても、受動喫煙の機会をできる限りなくす方向で取り組みを進めていきたいと考えています。

2点目のぷらっとわらびについてです。まず、利用者が少ないとお話しでしたが、ぷらっとわらびは、現在、年間で約20万人の方が利用されており、これは、市民会館の約10万人、市民体育館の約15万人（いずれも平成30年度の実績）と比べても、とても多くの方に利用されている事業です。また、ぷらっとわらびは、もともと採算をとることを想定しておらず、事業に要する費用は、「赤字」と捉えるものではなく、必要な経費と考えています。

ぷらっとわらびがあることでご高齢の方が気軽に外出することができ、健康づくりや生きがいづくりなどに大きな役割を果たしています。そのことによって、病気や介護の予防につながれば、それは、ぷらっとわらびにかかっている費用以上の大きな効果が発揮されていると私は考えています。

3点目の若い世代への施策についてですが、私が市長に就任して、積極的に充実を図ってきた分野の一つが、子育て支援など若い世代への取り組みです。例えば、県南でいち早く、中学卒業までの医療費無料化を実施し、認可保育園も5園から13園へと大幅に増設してきました。また、子育て世代の定住促進に向けて、蕨に住んでいる親御さんの子どもの世帯が、二世帯住宅への建て替えや蕨市内に住居を購入した場合、補助をする三世帯ふれあい家族住宅取得支援事業を開始し、多くの方々にご利用いただいています。高齢化についてのお話がありましたが、確かに、蕨市でも高齢化は進んでいますが、高齢化率は現在23.1%で、全国平均の28%よりも低い状況にあり、ここ数年、蕨市の子ども的人数は増えてきています。大切なことは、若い世代から高齢の世代まで、様々な世代の方々が住みやすいまちにしていけるよう、バランス良く施策に取り組むことであり、引き続き、努力して行きたいと思えます。

#### 質問(女性)

先ほどぷらっとわらびの本数を減らした方がよいといったご意見がありましたが、私は逆にこのバスがあつてよかったと思っています。5年ほど前から股関節の手術などにより普通に歩くことが難しくなりました。タクシーを使うととてもお金がかかってしまいますが、杖を使えば歩いてバス停までは行けますので、本当に助かっています。乗ってみると、様々な事情でこのバスを必要とする方がいることが分かります。現在のルートだけですと目的地に着くのにかなり時間がかかってしまうことがあり、できれば逆回りルートも実現していただきたいです。

#### 回答(市長)

ぷらっとわらびが皆さんの暮らしに役立っているとの声は、これまでもたくさんいただけてきました。また、ぷらっとわらびにはベビーカーごと乗車でき

ることから、高齢者の皆さんだけでなく、乳幼児のお子さんを持つ子育て世代の方からもご好評をいただいております。子育てしやすいまちにもつながっていると考えています。これまでの市長タウンミーティングや公民館での子育て世代の皆さんとの懇談においても、ふらっとわらびの改善を求めるご意見が非常に多かったというのが私の実感ですので、これからも様々なご意見を伺いながら、ルート拡充の取り組みについて、引き続き、努力をしていきたいと思っております。

※ご質問いただきました内容に関して、担当課の確認など、その場でお答えできなかった内容を、加筆・修正して公開しております。